



平成17年9月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17年 8月 16日

上 場 会 社 名 株式会社ネクシィーズ

(コード番号：4346

東証・大証第一部)

(URL <http://www.nexyz.co.jp/>)

代 表 者 役職名 代表取締役社長 氏名 近藤 太香巳

問合せ先責任者 役職名 専務取締役管理本部長 氏名 松井 康弘 TEL：(03) 5459-7444

1. 第3四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成17年9月期第3四半期財務・業績の概況（平成16年10月1日～平成17年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		第3四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年9月期 第3四半期累計	17,415	31.5	1,899	163.2	1,825	201.3	896	306.0
16年9月期 第3四半期累計	13,241	87.0	721	64.1	605	55.4	220	72.4
(通期) 16年9月期	18,341		1,289		1,103		506	

	1株当たり第3四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 第3四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年9月期 第3四半期累計	744	98	—	—
16年9月期 第3四半期累計	736	55	729	20
(通期) 16年9月期	1,689	60	1,676	37

(注) ①期中平均株式数 17年6月第3四半期 1,203,086株 16年6月第3四半期 299,700株 16年9月期 299,700株

②売上高、営業利益、経常利益、第3四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

③平成17年5月20日付をもちまして、1株を4株にする株式分割をいたしました。平成17年9月期第3四半期累計の1株当たり第3四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり第3四半期純利益の算定につきましては、株式分割が期首に行われたものとして算出しております。

また、平成17年6月23日付をもちまして、公募増資により普通株式120,000株の新株発行をいたしました。平成17年9月期第3四半期累計の1株当たり第3四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり第3四半期純利益の算定につきましては、当該発行時から期末までの日数に応じた普通株式数を算定する方法により算出しております。

④平成17年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり第3四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式がないため、記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

1. 当第3四半期連結会計期間の経営成績

当第3四半期連結会計期間におけるわが国の経済状況は、企業収益の改善及び設備投資の増加を背景に、景気は緩やかに回復基調を辿り、個人消費についても若干ながら持ち直しが見られ、景気の踊り場状態を脱する兆しが見え始めました。

情報通信業界、特にブロードバンドサービス市場において、ブロードバンドサービス利用件数は平成17年3月末に19,512千件（注1）となりました。インターネットの普及率は年々高まっておりますが、新たな契約数は未だ増加傾向にあります。今後は接続料金が低廉であることに加え、スポーツ・ゲーム・映画・音楽等のコンテンツが充実した、高品質なサービスが求められていくものと思われまます。また、固定通信市場においては新たに直収型（注2）固定電話サービスが開始され、固定通信各社間で競合他社との顧客獲得競争がはじまりました。

このような状況のなか、当社グループでは収益の向上、それに伴う企業価値の拡大、並びに継続的な成長・発展戦略の推進に努めており、当第3四半期において、次の3つの施策を実施いたしました。

第1の施策は、これまでの拡大経営から経営資源の効率的な活用に重点を置いた集中経営への施策であります。具体的には、当社が行うテレマーケティング事業において、テレマーケティングスタッフの生産性の向上及び経費の削減に努めました。当該施策により連結売上総利益率29.6%（前年同期比1.8ポイント増）、連結営業利益率10.9%（前年同期比3.9ポイント増）となり、利益率の向上に寄与いたしました。

第2の施策は、クライアント企業の多様化を図り、パリエーションに富んだ商材及びサービスを一般消費者及び法人企業に提供するための新規事業展開であります。証券仲介業を行う㈱ネクシィーズ・トレード（平成17年3月3日設立）、飲食店への販売促進支援業を行う㈱ユーシーシー・ネクシィーズ（平成17年3月31日設立）及び保険代理店業を行う㈱ソニア・パートナーズ（平成17年7月1日設立）をJV方式にて設立いたしました。同3社は現在テストマーケティングや登録申請を行っており、来期から本格稼働いたします。

第3の施策は、公募増資の実施であります。今回の増資は財務の健全化と今後の新規事業展開に備え、借入金及び社債の返済資金と新規事業立ち上げに伴う増加運転資金に充当することを目的として行いました。当該施策により、流動性比率は310.1%となり前期末比163.7ポイント上昇いたしました。また、株主資本比率は62.8%となり前期末比33.8ポイントの上昇となりました。

2. 今後の事業展開

今後の事業展開としては、まずISP事業及びポータルサイト事業への参入であります。具体的には、ISP事業は連結子会社㈱Nexyz.BB（旧商号㈱エス・ピー・ネクシィーズ）が行い、ポータルサイト事業は連結子会社アイデアキューブ㈱にて行います。当該施策により、収益に関しては、従来のインセンティブ型から直収型へ移行し、当社グループの経営基盤である継続収入が更に増加いたします。また、事業展開に関しては、当社グループが提供する様々なサービス（web広告、eCRM（注3）、証券仲介業等）を従来のテレマーケティング事業だけではなく、ISP事業及びポータルサイト事業も併用した方式により提供してまいりますので、より効率的な経営資源の活用と更なる収益規模の拡大が可能となります。

次に今後のテレマーケティング事業における最適なサービス提供であります。当社のテレマーケティングサービスには、成果報酬型テレマーケティング（加入取次ぎ件数に応じた受付手数料が主収入）と業務受託型テレマーケティング（テレマーケティングブースの稼働時間に応じた定額の業務受託料が主収入）の2種類があります。収益性や効率的な経営資源の活用を勘案した上で、各クライアント企業の業種や業態、案件の内容に合わせて、最適なテレマーケティング手法を選択し、サービス提供してまいります。

今後の事業展開は上記2施策を実施し、積極的に事業推進を行っていくことで収益の向上、それに伴う企業価値の拡大、並びに継続的な成長・発展戦略の推進に努めてまいります。

当第3四半期の当社グループ業績は、売上高17,415百万円（前年同期比31.5%増）、営業利益1,899百万円（前年同期比163.2%増）、経常利益1,825百万円（前年同期比201.3%増）、第3四半期純利益は896百万円（前年同期比306.0%増）となりました。

（注1）総務省発表資料から引用しました。

（注2）NTTが保有する銅線（ドライカップ）を利用し、NTT局舎内に自前交換機を設置することで、ユーザー宅との直接接続を行うこと。

（注3）デジタル技術とネットワーク技術を利用し、電子化されたCRM*

CRM* Customer Relationship Managementの略。CRMとは、顧客に対する価値提供のプロセスを全社的に再構築して、つねに個々の顧客に最適化した対応と製品・サービスを、効率よく提供するための、新しいビジネス・コンセプトです。

当社グループでは情報技術を利用した各種サービス事業を営んでおり、単一セグメントに属するため、事業別のセグメント情報は作成しておりませんので、売上高を事業区分別に示すと次のとおりであります。

[連結売上高事業区分] (平成 16年 10月 1日 ~ 平成 17年 6月 30日)

事業区分	売上高 (百万円)	構成比 (%)	増減率 (%)
情報技術を利用した各種サービス事業	17,415	100.0	31.5
テレマーケティング事業	15,837	90.9	38.8
その他マーケティング事業	47	0.3	△83.3
プロモーション事業	416	2.4	△38.0
継続収入	1,114	6.4	27.2

(注) 増減率におけるパーセント表示は対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態 (連結) の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
17年9月期 第3四半期	15,571	9,782	62.8	7,392	98
16年9月期 第3四半期	—	—	—	—	—
(通期) 16年9月期	19,939	5,775	29.0	19,272	43

- (注) ①期末発行済株式数 17年6月第3四半期 1,323,168株 16年6月第3四半期 299,700株 16年9月期 299,700株
 ②当第3四半期より財政状態の開示を行っているため、前年同四半期の数値は記載しておりません。
 ③平成17年5月20日付をもちまして、1株を4株にする株式分割をいたしました。また、平成17年6月23日付をもちまして公募増資により普通株式120,000株の新株発行をいたしました。

[連結キャッシュ・フローの状況]

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 第3四半期末(期末)残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年9月期 第3四半期累計	293	△1,023	953	8,280
16年9月期 第3四半期累計	—	—	—	—
(通期) 16年9月期	2,809	△709	586	8,057

(注) 当第3四半期より連結キャッシュ・フローの状況の開示を行っているため、前年同四半期の数値は記載しておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

(1) 財政状態と流動性分析

当第3四半期連結会計年度末の総資産は15,571百万円となり、前期末比4,368百万円の減少となりました。

流動資産は10,548百万円となり、前期末比5,345百万円の減少となりました。

これは主に売上債権の回収の早期化に伴い、売掛金が減少したことによるものであります。

固定資産は5,022百万円となり、前期末比976百万円の増加となりました。

これは主に一時差異の解消に一年以上を要する繰延税金資産（固定）が増加したことによるものです。また、これにより繰延税金資産（流動）は減少しております。

当第3四半期連結会計年度末の負債は5,528百万円となり、前期末比8,476百万円の減少となりました。

流動負債は3,401百万円となり、前期末比7,458百万円の減少となりました。

これは主に法人税等の支払に伴う未払法人税等の減少、引当金の取崩に伴う解約調整引当金の減少、借入金の減少等によるものです。

固定負債は2,127百万円となり、前期末比1,017百万円の減少となりました。

これは主に借入金の減少によるものです。

当第3四半期連結会計年度末の少数株主持分は260百万円となり、前期末比101百万円の増加となりました。

これは主にJV方式により連結子会社を設立したことによる増加であります。

当第3四半期連結会計年度末の資本合計は9,782百万円となり、前期末比4,006百万円の増加となりました。

新株予約権の行使及び公募増資により、資本金及び資本準備金が各々1,705百万円増加し、資本金4,400百万円、資本剰余金4,186百万円となりました。また、期末配当及び中間配当を実施し300百万円支出いたしました。第3四半期純利益896百万円を計上したことにより、利益剰余金は1,195百万円となり、596百万円の増加となりました。

以上により、流動性比率は310.1%となり前期末比163.7ポイント上昇いたしました。株主資本比率は62.8%となり前期末比33.8ポイントの上昇となりました。

(2) キャッシュ・フロー分析

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の第3四半期末残高は8,280百万円となり、前連結会計年度末8,057百万円と比較して、223百万円の増加となりました。当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは293百万円の収入となりました。これらは主に税金等調整前第3四半期純利益1,648百万円を計上したこと、売上債権回収の早期化による売上債権の減少3,564百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは1,023百万円の支出となりました。これらは主に業容拡大及びセキュリティシステム導入による固定資産の取得による支出799百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは953百万円となりました。新株予約権の行使及び公募増資を行ったことによる株式の発行による収入3,473百万円によるものであります。

平成17年9月期の連結業績予想（平成16年10月1日～平成17年9月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	21,300	1,800	1,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期）745円62銭

(注) 平成17年7月25日付をもって第三者割当増資により普通株式18,000株の新株発行を実施いたしましたので、1株当たり予想当期純利益（通期）は予想期末発行済株式総数1,341,168株にて算出しております。

[業績予想に関する定性的情報等]

平成17年9月期の連結業績につきましては、概ね予想どおり推移しております。なお、前期決算発表時点（平成16年11月15日）の通期連結業績予想に変更はございません。

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。

1. 第3四半期連結貸借対照表

区分	当第3四半期連結会計期間末 (平成17年6月30日)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成16年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
1. 現金及び預金	8,324,631		8,101,011	
2. 売掛金	1,672,719		5,754,567	
3. 有価証券	30,000		—	
4. たな卸資産	284,966		369,286	
5. その他	236,457		1,669,292	
流動資産合計	10,548,773	67.7	15,894,158	79.7
II 固定資産				
(1) 有形固定資産				
1. 工具器具備品	878,524		637,475	
2. レンタル資産	980,939		1,363,230	
3. その他	415,876		227,058	
計	2,275,340	14.6	2,227,764	11.2
(2) 無形固定資産				
1. 連結調整勘定	371,680		386,805	
2. その他	162,746		213,538	
計	534,427	3.5	600,344	3.0
(3) 投資その他の資産				
1. 敷金・保証金	814,802		826,112	
2. 繰延税金資産	848,009		27,860	
3. その他	549,861		363,697	
計	2,212,672	14.2	1,217,670	6.1
固定資産合計	5,022,440	32.3	4,045,779	20.3
資産合計	15,571,214	100.0	19,939,937	100.0

区分	当第3四半期連結会計期間末 (平成17年6月30日)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成16年9月30日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
1. 買掛金	569,311		627,936	
2. 短期借入金	—		900,000	
3. 一年内返済予定の 長期借入金	1,653,380		1,962,310	
4. 未払金	854,260		1,691,807	
5. 解約調整引当金	101,242		3,323,451	
6. その他	223,142		2,354,607	
流動負債合計	3,401,336	21.8	10,860,113	54.4
II 固定負債				
1. 社債	700,000		700,000	
2. 長期借入金	1,342,300		2,272,985	
3. その他	85,279		172,294	
固定負債合計	2,127,579	13.7	3,145,279	15.8
負債合計	5,528,916	35.5	14,005,392	70.2
(少数株主持分)				
少数株主持分	260,148	1.7	158,596	0.8
(資本の部)				
I 資本金	4,400,886	28.2	2,695,797	13.5
II 資本剰余金	4,186,694	26.9	2,481,605	12.5
III 利益剰余金	1,195,985	7.7	599,961	3.0
IV 自己株式	△1,417	△0.0	△1,417	△0.0
資本合計	9,782,149	62.8	5,775,947	29.0
負債、少数株主持分及び資本合計	15,571,214	100.0	19,939,937	100.0

(注) 前第3四半期は連結貸借対照表を開示しておりませんので記載しておりません。

2. 第3四半期連結損益計算書

科目	当第3四半期連結会計期間 (自 平成16年10月1日 至 平成17年6月30日)		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自 平成15年10月1日 至 平成16年9月30日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高	17,415,881	100.0	18,341,576	100.0
II 売上原価	12,263,247	70.4	13,237,830	72.2
売上総利益	5,152,634	29.6	5,103,746	27.8
III 販売費及び一般管理費				
1. 広告宣伝費	356,324		99,251	
2. 賃借料	822,971		756,506	
3. その他	2,073,494		2,958,734	
販売費及び一般管理費合計	3,252,790	18.7	3,814,493	20.8
営業利益	1,899,843	10.9	1,289,253	7.0
IV 営業外収益				
1. 受取利息	974		1,553	
2. 受取配当金	2		600	
3. 投資事業組合利益	14,951		—	
4. 受取補助金	48,175		29,300	
5. その他	33,487		15,611	
営業外収益合計	97,590	0.6	47,064	0.3
V 営業外費用				
1. リース支払利息	19,081		35,962	
2. 支払利息	64,485		116,233	
3. 新株発行費	37,863		—	
4. 融資手数料	49,387		34,132	
5. その他	889		46,777	
営業外費用合計	171,707	1.0	233,105	1.3
経常利益	1,825,725	10.5	1,103,212	6.0

科目	当第3四半期連結会計期間 (自平成16年10月1日 至平成17年6月30日)		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自平成15年10月1日 至平成16年9月30日)	
	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
VI 特別利益				
1. 投資有価証券売却益	660		—	
2. 貸倒引当金戻入額	489		739	
特別利益合計	1,150	0.0	739	0.0
VII 特別損失				
1. 投資有価証券評価損	4,017		5,922	
2. 本社及び支店移転損失	161,400		—	
3. 貸倒引当金繰入額	7,000		—	
4. その他	5,783		71,180	
特別損失合計	178,200	1.0	77,103	0.4
税金等調整前第3四半期(当期) 純利益	1,648,675	9.5	1,026,848	5.6
法人税、住民税及び事業税	119,675	0.7	1,897,768	10.3
法人税等調整額	621,635	3.6	△1,377,173	△7.5
少数株主利益(△損失)	11,095	0.0	△119	△0.0
第3四半期(当期)純利益	896,269	5.2	506,373	2.8

(注) 前第3四半期は連結損益計算書を開示しておりませんので記載しておりません。

3. 第3四半期連結剰余金計算書

区分	当第3四半期連結会計期間 (自 平成16年10月1日 至 平成17年6月30日)		前連結会計年度の 連結剰余金計算書 (自 平成15年10月1日 至 平成16年9月30日)	
	金額 (千円)		金額 (千円)	
(資本剰余金の部)				
I 資本剰余金期首残高		2,481,605		2,481,605
II 資本剰余金増加高				
1. 新株予約権行使による新株発行	19,929		—	
2. 増資による新株発行	1,685,160	1,705,089	—	—
III 資本剰余金第3四半期末(期末)残高		4,186,694		2,481,605
(利益剰余金の部)				
I 利益剰余金期首残高		599,961		168,513
II 利益剰余金増加高				
第3四半期(当期)純利益	896,269	896,269	506,373	506,373
III 利益剰余金減少高				
配当金	300,246	300,246	74,925	74,925
IV 利益剰余金第3四半期末(期末)残高		1,195,985		599,961

(注) 前第3四半期は連結剰余金計算書を開示しておりませんので記載しておりません。

4. 第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	当第3四半期連結会計期間 (自 平成16年10月1日 至 平成17年6月30日)	前連結会計年度の連結 キャッシュ・フロー計算書 (自 平成15年10月1日 至 平成16年9月30日)
区分	金額 (千円)	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 税金等調整前第3四半期(当期)純利益	1,648,675	1,026,848
2. 減価償却費	689,319	774,353
3. 連結調整勘定償却額	17,582	23,442
4. 貸倒引当金の増減額(△減少額)	6,510	△739
5. 解約調整引当金の増減額(△減少額)	△3,222,208	3,097,707
6. 受取利息及び受取配当金	△974	△2,153
7. 支払利息	83,567	152,195
8. 社債発行費	—	29,550
9. 新株発行費	37,863	—
10. 融資手数料	32,925	34,132
11. 投資事業組合費用(△利益)	△14,951	3,356
12. 投資有価証券評価損	4,017	5,922
13. 投資有価証券売却益	△660	—
14. 固定資産除却損	3,783	36,835
15. 本社及び支店移転損失	161,400	—
16. 事業撤退損失	—	34,345
17. 売上債権の増減額(△増加額)	3,564,687	△1,875,476
18. レンタル資産の取得による支出	△47,777	△168,703
19. レンタル資産の売却による収入	66,793	160,328
20. たな卸資産の減少額(△増加額)	75,152	△66,170
21. 仕入債務の増加額(△減少額)	△58,625	172,442
22. 未払消費税等の増減額(△減少額)	△506,710	422,533
23. その他資産・負債の増減額(△減少額)	△330,714	△406,662
24. その他	2,000	—
小計	2,211,655	3,454,089
25. 利息及び配当金の受取額	1,276	2,153
26. 利息の支払額	△74,973	△147,792
27. 本社及び支店移転に関する支払額	△49,259	—
28. 法人税等の支払額	△1,795,608	△499,427
営業活動によるキャッシュ・フロー	293,091	2,809,023

	当第3四半期連結会計期間 (自 平成16年10月1日 至 平成17年6月30日)	前連結会計年度の連結 キャッシュ・フロー計算書 (自 平成15年10月1日 至 平成16年9月30日)
区分	金額 (千円)	金額 (千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 貸付金回収による収入	1,720	24,322
2. 貸付による支出	△700	△10,880
3. 投資有価証券の取得による支出	△46,751	△11,490
4. 投資有価証券の売却による収入	4,861	—
5. 出資証券の取得による支出	△165,000	△25,000
6. 有形固定資産の取得による支出	△787,873	△576,234
7. 無形固定資産の取得による支出	△11,602	△85,104
8. その他の投資による支出	△17,749	△25,356
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,023,093	△709,742
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増減額 (△減少額)	△900,000	93,000
2. 長期借入による収入	—	1,700,000
3. 長期借入金の返済による支出	△1,239,615	△1,645,494
4. 社債の発行による収入	—	670,450
5. 株式の発行による収入	3,473,693	—
6. リース債務の支払いによる支出	△79,231	△95,029
7. 配当金の支払額	△298,816	△74,484
8. その他の支出	△2,407	△62,322
財務活動によるキャッシュ・フロー	953,622	586,119
IV 現金及び現金同等物の増減額 (△減少額)	223,619	2,685,400
V 現金及び現金同等物の期首残高	8,057,011	5,371,611
VI 現金及び現金同等物の第3四半期末 (期末) 残高	8,280,631	8,057,011

(注) 前第3四半期は連結キャッシュ・フローを開示しておりませんので記載しておりません。



平成17年9月期 第3四半期財務・業績の概況（個別）

平成 17年 8月16日

上 場 会 社 名 株式会社ネクシィーズ

(コード番号：4346

東証・大証第一部)

(URL <http://www.nexyz.co.jp/>)

代 表 者 役職名 代表取締役社長 氏名 近藤 太香巳

問合せ先責任者 役職名 専務取締役管理本部長 氏名 松井 康弘 TEL：(03) 5459-7444

1. 第3四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 ② 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成17年9月期 第3四半期財務・業績の概況（平成 16年 10月 1日 ～ 平成 17年 6月 30日）

(1) 経営成績（個別）の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		第3四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年9月期 第3四半期累計	17,075	35.7	1,668	198.8	1,648	226.8	820	296.1
16年9月期 第3四半期累計	12,579	90.5	558	29.9	504	13.6	207	△21.0
(通期) 16年9月期	17,441		935		838		352	

	1株当たり第3四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 第3四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年9月期 第3四半期累計	681	72	—	—
16年9月期 第3四半期累計	690	84	683	95
(通期) 16年9月期	1,174	67	1,165	48

(注) ①期中平均株式数 17年6月第3四半期 1,203,086株 16年6月第3四半期 299,700株 16年9月 299,700株

②売上高、営業利益、経常利益、第3四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

③平成17年5月20日付をもちまして、1株を4株にする株式分割をいたしました。平成17年9月期第3四半期累計の1株当たり第3四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり第3四半期純利益の算定につきましては、株式分割が期首に行われたものとして算出しております。

また、平成17年6月23日付をもちまして、公募増資により普通株式120,000株の新株発行をいたしました。平成17年9月期第3四半期累計の1株当たり第3四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり第3四半期純利益の算定につきましては、当該発行時から期末までの日数に応じた普通株式数を算定する方法により算出しております。

④平成17年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり第3四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式がないため、記載しておりません。

(2) 財政状態（個別）の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
17年9月期 第3四半期	15,502	9,750	62.9	7,369	03
16年9月期 第3四半期	—	—	—	—	—
(参考) 16年9月期	19,936	5,820	29.2	19,420	63

(注) ①期末発行済株式数 17年6月第3四半期 1,323,168株 16年6月第3四半期 299,700株 16年9月期 299,700株

②当第3四半期より財政状態の開示を行っているため、前年同四半期の数値は記載しておりません。

③平成17年5月20日付をもちまして、1株を4株にする株式分割をいたしました。また、平成17年6月23日付をもちまして公募増資により普通株式120,000株の新株発行をいたしました。

3. 平成17年9月期の個別業績予想（平成16年10月1日～平成17年9月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金			
				中間		期末	
	百万円	百万円	百万円	円	銭	円	銭
通期	20,200	1,500	800	500	00	125	00
						625	00

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期）596円49銭

(注) 平成17年7月25日付をもって第三者割当増資により普通株式18,000株の新株発行を実施いたしましたので、1株当たり予想当期純利益（通期）は予想期末発行済株式総数1,341,168株にて算出しております。

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

平成17年9月期の個別業績につきましては、概ね予想どおり推移しております。なお、前期決算発表時点（平成16年11月15日）の通期個別業績予想に変更はございません。（期末配当金は株式分割を反映しております。）

1. 第3四半期貸借対照表

区分	当第3四半期会計期間末 (平成17年6月30日)		前事業年度の要約貸借対照表 (平成16年9月30日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
1. 現金及び預金	6,683,299		6,858,286	
2. 売掛金	1,659,613		5,763,388	
3. たな卸資産	47,914		116,480	
4. その他	871,651		2,410,771	
流動資産合計	9,262,479	59.8	15,148,926	76.0
II 固定資産				
1. 有形固定資産				
(1) 工具器具備品	850,241		605,911	
(2) その他	543,151		446,074	
計	1,393,393		1,051,986	
2. 無形固定資産	63,209		71,161	
3. 投資その他の資産				
(1) 関係会社株式	1,779,900		1,523,500	
(2) 関係会社長期貸付金	875,000		1,000,000	
(3) 敷金・保証金	776,247		782,803	
(4) 繰延税金資産	848,009		27,860	
(5) その他	503,941		330,327	
計	4,783,098		3,664,491	
固定資産合計	6,239,701	40.2	4,787,638	24.0
資産合計	15,502,181	100.0	19,936,565	100.0

区分	当第3四半期会計期間末 (平成17年6月30日)		前事業年度の要約貸借対照表 (平成16年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
1. 買掛金	1,029,450		783,962	
2. 短期借入金	—		900,000	
3. 一年内返済予定の長期借入金	1,590,380		1,854,310	
4. 未払金	782,002		1,490,948	
5. 解約調整引当金	101,242		3,323,451	
6. その他	176,469		2,719,597	
流動負債合計	3,679,545	23.7	11,072,270	55.5
II 固定負債				
1. 社債	700,000		700,000	
2. 長期借入金	1,326,550		2,209,985	
3. その他	45,618		133,947	
固定負債合計	2,072,168	13.4	3,043,932	15.3
負債合計	5,751,713	37.1	14,116,202	70.8
(資本の部)				
I 資本金	4,400,886	28.4	2,695,797	13.5
II 資本剰余金				
資本準備金	4,186,694		2,481,605	
資本剰余金合計	4,186,694	27.0	2,481,605	12.5
III 利益剰余金				
第3四半期(当期)未処分利益	1,164,303		644,376	
利益剰余金合計	1,164,303	7.5	644,376	3.2
IV 自己株式	△1,417	△0.0	△1,417	△0.0
資本合計	9,750,467	62.9	5,820,362	29.2
負債・資本合計	15,502,181	100.0	19,936,565	100.0

(注) 前第3四半期は貸借対照表を開示しておりませんので記載しておりません。

2. 第3四半期損益計算書

科目	当第3四半期会計期間 (自 平成16年10月1日 至 平成17年6月30日)		前事業年度の要約損益計算書 (自 平成15年10月1日 至 平成16年9月30日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高	17,075,000	100.0	17,441,317	100.0
II 売上原価	12,625,386	73.9	13,177,389	75.6
売上総利益	4,449,613	26.1	4,263,928	24.4
III 販売費及び一般管理費	2,781,359	16.3	3,328,286	19.1
営業利益	1,668,253	9.8	935,642	5.3
IV 営業外収益	150,033	0.9	130,036	0.8
V 営業外費用	169,824	1.0	227,100	1.3
経常利益	1,648,463	9.7	838,578	4.8
VI 特別利益	489	0.0	739	0.0
VII 特別損失	170,097	1.0	42,757	0.2
税引前第3四半期(当期)純利益	1,478,855	8.7	796,559	4.6
法人税、住民税及び事業税	39,913	0.3	1,815,318	10.4
法人税等調整額	618,769	3.6	△1,370,808	△7.8
第3四半期(当期)純利益	820,173	4.8	352,049	2.0
前期繰越利益	494,526		292,326	
中間配当額	150,396		—	
第3四半期(当期)未処分利益	1,164,303		644,376	

(注) 前第3四半期は損益計算書を開示しておりませんので記載しておりません。